

しばさき光子が描く

夢と政策の

和光地図



私には実現したい夢=「17の政策目標」*があります。そのための具体的な政策を和光市の地図に描いてみました。皆様と共に実現に向け一歩一歩、前へ進んでまいります。

※詳しくは前回のチラシまたは公式HPをご覧ください



01 駅周辺



- 駅前イベントの復活(感染状況をモニタリングしつつ)
- 北口再開発・高度化を推進し、和光新時代を牽引します
- 長期未着手の区画整理を見直して「区画整理を推進する地域」と「都市計画道路を推進する地域」の双方で将来に向けた街づくりを進めます

02 市役所周辺



- 広沢地区エリアマネジメント&市庁舎にぎわいプランに、西大和団地再生を繋げて「ウォーカブルタウン(=歩いて暮らせるまちづくり)」を目指す

03 和光北インター周辺



- 新倉PAのSA化計画・和光北インター東部地区を核として、「エネルギー」と「防災」の視点を加えた【埼玉版スーパー・シティプロジェクト】のモデルとなり得る地区を目指す

04 農業振興



- 市内自給率のアップ ●「近いが美味しい」和光市農産物の販路拡大
- 都市部における農業体験促進 等

05 和光バイパス



- 国・県・都と連携・推進すると共に、地域の方が最も心配する「地域の分断」に対して地元の声を聴き徹底的な対策を行います

06 市内交通



- デマンド交通の導入などにより循環バスを補完する交通手段を拡充
- 和光版MaaSの推進

07 南地区



- 大江戸線延伸を見越した南地区のまちづくり推進

08 水道事業



- 災害時に活躍する「給水車」の導入

09 住宅政策



- 定住型住居が多く提供されるよう住宅政策を進める ●「マンション登録制度」*の導入
- *マンションの管理状況を市に登録し、状況や年度に応じて市からアドバイス・支援を行える体制づくりを進めること。

10 防災



- マイタイムラインの普及による防災対策
- 聞き逃した「防災わこう」の確認電話をフリーダイヤル化

11 グローバル化



- 増加する在住外国人との共生社会の実現(私自身の海外居住経験も活かします)
- グローバル社会で活躍できる人材を育てる



しばさき光子が重視する4つの現場



わこうっち ©和光市

1 新型コロナウイルス感染症対策



- 「あんしんワクチンプログラム」の実施
 - ⇒ハイリスク者への優先付けなど「スムーズ予約&スムーズ接種」
 - ⇒転出入の多い和光市だからこそ「接種後の転出入サポート」を実施
 - ⇒ワクチン接種を「市民と市政との貴重な接点」にするために接種の際に「市政なんでも相談」を実施
- 医療従事者だけでなく保育士、介護士の早期ワクチン接種
- 在宅療養者への支援
 - ⇒市内国有施設の療養施設化を目指し政府との協議を進めます
- 新しい生活様式での自治会活動・市民活動の支援
- 感染拡大状況に対応した市民向け経済支援
- 「コロナ対策アンバサダー」の任命
 - ⇒和光ゆかりの著名人にアンバサダーになってもらい動画等で広報を強化します

2 福祉分野の建て直し

~「最先端の福祉」から「実感できる福祉」を目指して~

- 誰ひとり取り残さない「みんなの地域包括ケア」
- 令和7年度朝霞市への児童相談所開設を見越し、県との連携を強化した児童相談体制
- 女性・子供の貧困対策 ●統括保健師制度の導入
- コロナ禍での「孤立家庭のスクリーニング」と対応
- 和光市版【人生100年プロジェクト】
 - ⇒目指すは平均年齢県内第1位
 - ⇒福祉・医療だけでなく、生きがいづくりや健康支援に取り組みます
 - ・和光市(男性) 81.2歳 第7位/63市中 ※平成27年 厚生労働省
 - ・和光市(女性) 87.2歳 第5位/63市中 「市区町村別生命表」より
- 自殺予防対策(特に女性の自殺防止)
 - ⇒本年3月に締結した東京医科大学との協定も活かして、政策的根拠に基づく予防的アプローチを行います
- 職員が「現場に向く頻度」を増やします
 - ⇒「現場の課題」を「現場」で共有します



3 時代の転換点に合わせた市役所経営

- DX市役所の推進
 - ⇒「来庁不要・ハンコ不要」の手続き改革
 - ⇒保険料、保育料等のコンビニ収納や電子決済の早期実現
- 「市役所【組織】総点検」の実施
 - ⇒不祥事再発防止のための重層的チェック体制の構築(職員、監査、議会が各ステージでチェック機能を発揮できる体制づくり)
 - ⇒職員間ハラスメント(パワハラ等)防止対策強化を行うため、「公益通報・ハラスメントの相談窓口の外部化」(自衛隊などでも外部相談窓口が採用されています)
- 「市役所【事業】総点検」の実施
 - ⇒財源を生むため、新規事業や市独自事業のリスケジュール(=先送りや規模見直し)などを行う
 - ⇒税の滞納対策強化し、財源を増やし、不公平感を減らす



4 公教育の充実

~自分で考え行動する子どもを育てる~

- 小学校の35人学級を実現
 - ⇒政府に先行して市内小学校の35人学級を完全実施します
- 教育現場のDX化
 - ⇒生徒と向き合う時間を確保するため教育現場のDX化を推進します
 - ⇒タブレットを活用し、学びだけでなくPTA活動などのDX化も進めます
- 市北側への中学校設置協議と老朽化対策
 - ⇒既存の小・中学校等の老朽化対策(トイレの洋式化など)や学校再編協議と合わせて市北側への中学校設置について検討します

